

「湾岸がささえる都市の環境 － エネルギー・廃棄物・リサイクル －」

担当教員名 松本倫明

コース概要

日程 2017年8月22日～25日
場所 東京ガス(株)根岸工場LNGスクエア、J-POWER 電源開発(株)磯子火力発電所、東京都スーパーエコタウン、JXTG エネルギー(株)根岸製油所、かわさきエコ暮らし未来館、岩谷産業(株)水素ステーション芝公園・トヨタショールーム、東京都下水道局 砂町水再生センター

参加人数 19名

内容

大都市に住む我々は大量のエネルギーを消費し、大量の廃棄物を排出します。また廃棄物のある部分はリサイクルされ、ふたたび消費されます。このような、物質とエネルギーの流れは都市に生活していると実感しづらいものです。このコースでは、大都市から近い湾岸地区に出かけ、エネルギー、廃棄物、そしてリサイクルに関連した施設を集中的に見学します。

訪問先は比較的近距離のため、すべて日帰りで行います。社会人学生や1年生が参加しやすいコースです。

東京都と神奈川県臨海部にある合計6施設を4日間で訪問します。訪問先は、東京ガスの液化天然ガスの工場、石炭火力発電所、石油精製施設、メガソーラー（大規模な太陽光発電）、水素自動車と水素ステーション、下水処理場、東京スーパーエコタウンに展開するリサイクル施設、そして東京湾にある巨大なゴミの埋立地と盛りだくさんです。

実施期間中は天候に恵まれましたが、恵まれすぎて猛暑で大変でしたが、充実した4日間でした。事前学習と事後学習のグループワークでもみんなで議論しながらたくさんのことを学習しました。

学習を終えて

たくさん施設を訪問しましたが、その中で水素自動車が印象的でした。水素自動車は静かでCO₂を出しません。価格の低下が普及するためのひとつのポイントだと思いました。(エルトン・チャン SCOPE 留学生2年)

コースのねらい

このコースでは、エネルギー・廃棄物・リサイクル関連の施設を訪問します。湾岸エリアに点在するこれらの施設を短期間で集中的に見学します。見学を通じて都市の環境を支える科学技術を学ぶことを目的としています。さらに都市におけるエネルギーと物質のフローについて考えます。またグループで議論しながら学習することに力点を置き、受け身ではなく、双方向の学びを提供します。



火力発電所の巨大なタービンの前で集合写真。



水素ステーションとショールームでは水素自動車に試乗しました。